



中学生ボクサー

いじま とあ
井島 永愛さん

Profile

2012年藤岡市生まれ。7月の第13回全日本アンダージュニア王座決定戦東日本代表選考会の中学生男子64キロ級で優勝。プロボクサーを目指し練習に励んでいる。

その両拳で、未来を切り開く！

自

分よりも年上で体格の大きな選手を相手にしたスパーリングにも、ひるむことなく果敢に挑む中学3年生がいます。「強い相手と戦うのが楽しい」、そう語る井島さんの眼差しには迷いがありません。リングの上で拳を交える度、その経験一つ一つを力に変えながら、さらなる高みを目指しています。

幼い頃はおとなしく、運動も決して得意な方ではなかったという井島さん。中学入学当初は野球部への入部を考えていましたが、もともと格闘技に興味があったことや、父親からの「ボクシングをやってみないか」という何気ない一言がきっかけとなり、ボクシングを始めることとなります。かっこいいし、強くなれるとの思いで始めたボクシングでしたが、ジムに通い始めるとその魅力にどんどん引き込まれていきます。持ち前の向上心と負けん気を武器に、練習を重ねる度に力を伸ばし、今ではジムでの練習が日常の一部となっています。一つのことに夢中になるさんは、練習にも一切の妥協はあ

りません。「どんな練習でも集中して、全力を出し切っています」と、短い言葉の中にもボクシングへのひた向きの姿勢がにじみ出ます。

今後の展望を尋ねると、ボクシングに打ち込める環境とさらなる強さを求め、海外へ挑戦の場を広げたいと話す井島さん。文化も風土も異なる、これまでと違う環境に身を置き、強さを磨く。未知の挑戦にも、不安や緊張はないといいます。そして、その先に見据えているのが、プロボクサーとしての未来です。「プロになって、世界の頂点に立てるよう頑張りたいです。たくさんの人に知られる選手にもなりたいです」。そう話す表情には、遠い世界を見据えながらも、少年らしい笑顔が浮かびます。

物静かな少年だった井島さんが、今、夢中になって追い求めるのはリングの上でしか見ることのできない景色。ひた向きに拳を鍛え続けたその先には、まだ見ぬ世界が待っています。井島さんの挑戦は、これから一歩ずつ夢に向かって進んでいきます。